



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社あらた

上場取引所 東

コード番号 2733 URL <https://www.arata-gr.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役 社長執行役員 （氏名） 東風谷 誠一

問合せ先責任者 （役職名） 上席執行役員 コーポレートガバナン
ス統括本部長 （氏名） 土谷 信貴 TEL 03-5635-2800

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 2025年12月5日

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト・金融機関向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	503,299	2.4	7,383	△9.7	7,549	△11.9	5,043	△13.2
2025年3月期中間期	491,522	4.3	8,174	2.5	8,569	1.7	5,808	2.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 5,873百万円（0.8%） 2025年3月期中間期 5,829百万円（△8.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	150.79	—
2025年3月期中間期	173.20	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	328,165	120,746	36.8	3,605.96
2025年3月期	311,728	116,557	37.4	3,490.50

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 120,719百万円 2025年3月期 116,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	51.00	—	51.00	102.00
2026年3月期	—	56.00			
2026年3月期（予想）			—	56.00	112.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,006,000	2.0	15,300	2.1	16,000	2.4	10,600	2.3	316.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	36,057,424株	2025年3月期	36,057,424株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,579,782株	2025年3月期	2,674,142株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	33,446,515株	2025年3月期中間期	33,537,559株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、現況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕P5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料内容の入手方法)

当社は2025年11月12日 (水) に機関投資家・アナリスト・金融機関向け説明会 (ライブ配信) を開催する予定です。説明会資料は、当社ウェブサイト (<https://www.arata-gr.jp/ir/>) へ掲載いたします。また、説明会の動画も後日、当社ウェブサイト (<https://www.arata-gr.jp/ir/>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

当社グループにおける財政状態及び経営成績の分析は、次のとおりであります。

文中の将来に関する事項については、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業業績の持ち直しによる雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などにより緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、一段と進む物価上昇によって生活費の負担が増加し、消費者の節約志向は一層高まっており依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境において、当社グループはこれまで以上の成長を果たすべく、「中期経営計画2026」（2024年3月期～2026年3月期）で掲げた各重点施策を着実に推進しております。

当社は設立時より各小売業様の「店頭」を常に意識し、当社の強みである独自の情報分析を活かし、消費者の生活様式の変化や購買意識の変化を捉えることにより従来から継続してきたカテゴリー戦略を引き続き実施し、さらに専売・優先流通品の拡大により当社グループの独自性を強化してまいりました。ペット関連商品については、ペットの体調やライフステージに合わせたフードの提案、ペットに喜んでもらい、ペットとの生活をより楽しくするためにペット用おやつ等の提案を実施する等、あらたグループのペット専門卸商社であるジャペル株式会社の専門性を活かした戦略を実施してまいりました。

このように、戦略的な営業活動の積み上げによるインスタシアの拡大および新規取引の獲得、さらに、商品調達・企画・開発機能を強化することで、当社の独自性ある商品の取扱いを拡大し、消費者に選ばれる商品を展開してまいりました。

このような営業活動の結果、将来を見据えた成長の要となる売上高につきましては、前年同期比2.4%増の503,299百万円となりましたが、第1四半期と8月度の天候による不振が大きく影響し、計画値に対しては未達に終わりました。

売上高増加要因といたしましては、カテゴリー別では、中計の重要施策として継続してきた注力カテゴリーであるヘルス&ビューティー（Health & Beauty）やペットカテゴリーが順調に伸びました。また、専売・優先流通品の売上拡大、大容量品や高付加価値商品の戦略的な拡大により、引き続き商品単価が向上したことも要因であります。次に業態別では、ドラッグストアやディスカウント業態での伸長率が拡大しており、さらに、昨年からスタートしましたコンビニ等の新規小売業様との取引も順調に推移しております。

売上総利益は、前年同期比で101.6%と増加したものの、売上総利益率は、前年同期比で0.08ポイントマイナスとなりました。これは、物価上昇を起因とするセンターフィー等の増加が主な要因であります。

販売費及び一般管理費につきましては、物流費および人件費の増加に加え、賃借料や一時的要因による経費の増加が加わり、また、社員給与およびパート人件費の増加により、前年同期比103.9%、販管費率は前年同期比0.12ポイント増加となりました。

このようなことから経常利益については、中間期の目標数値に対しては未達に終わりました。

以上のような結果、当中間連結会計期間における売上高は503,299百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は7,383百万円（前年同期比9.7%減）、経常利益は7,549百万円（前年同期比11.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は5,043百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

当社は、長期経営ビジョン2030で掲げた売上高1兆円を、中期経営計画2026の最終年度である2026年3月期に前倒しで達成することを計画しています。ITを活用した業務効率化や、人的資本・事業戦略への積極的な投資により、成長戦略の推進を加速させ、中期経営計画の目標達成を目指します。また、環境・社会・ガバナンス（ESG）への取り組みや情報開示にも引き続き注力し、強固な経営基盤を確立することで、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に貢献してまいります。

カテゴリー別売上実績

当中間連結会計期間におけるカテゴリー別売上実績は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

カテゴリー	主要商品	当中間連結会計期間	
		自 2025年4月1日 至 2025年9月30日	前年同期比
ヘルス&ビューティー (Health & Beauty)	化粧品、装粧品、入浴剤、身体洗浄剤、ヘアカラー、オーラルケア、医薬品、健康食品	156,129	% 104.6
ペット	ペット用品	95,539	103.6
紙製品	ベビー用品、ベビー用おむつ、介護用品、大人用おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー	94,342	102.6
ハウスホールド	衣料用洗剤類、台所・食器用洗剤類、住居用洗剤類	70,797	99.2
ホームケア	芳香・消臭剤、防虫剤、殺虫剤、薰香ローソク、乾電池／乾電池応用品、記録メディア、照明用品、電気応用品、OA用品、写真関連品	44,940	98.9
家庭用品	台所消耗品、洗面用品、清掃用品、収納用品、季節品、保存用品、調理用品、卓上用品、行楽用品	30,529	99.1
その他	文具、玩具、カー用品	11,020	105.6
合計		503,299	102.4

カテゴリー別については、ヘルス&ビューティー（Health & Beauty）が前年同期比4.6％増、ペットは同3.6％増、紙製品は同2.6％増、その他は同5.6％増と好調に推移いたしました。カテゴリーの構成比が大きいヘルス&ビューティー（Health & Beauty）については、インバウンド需要の増加に加え、専売・優先流通品の売上拡大により伸長しております。また、ペットについては、グループ会社であるジャペル㈱の専門性の高い提案によるペット用フードなどの伸長により、好調に推移しております。

業態別売上実績

当中間連結会計期間における業態別売上実績は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

業態	当中間連結会計期間	
	自 2025年4月1日 至 2025年9月30日	前年同期比
		%
ドラッグストア	260,578	101.7
ホームセンター	70,250	98.6
スーパーマーケット（SM）	55,171	100.1
ディスカунストア	40,687	106.7
GMS	17,734	90.4
その他	58,876	114.9
合計	503,299	102.4

業態別については、コンビニとの取引増加により、その他が前年同期比14.9%増、ディスカунストアは同6.7%増、ドラッグストアは同1.7%増、スーパーマーケット（SM）は同0.1%増と好調に推移しております。

社会全体の経済環境が厳しい中、各業態・各小売業様の特長に合わせ消費者動向を意識した提案を行うことで小売業様に貢献してまいります。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産合計は328,165百万円となり、前連結会計年度末と比較して16,437百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は246,666百万円となり、前連結会計年度末と比較して12,961百万円の増加となりました。

これは主に受取手形及び売掛金が6,263百万円、現金及び預金が3,665百万円、未収入金が2,337百万円増加したことによるものであります。

固定資産は81,499百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,476百万円の増加となりました。

これは主に投資有価証券が1,474百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は161,392百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,430百万円の増加となりました。

これは主に支払手形及び買掛金が1,882百万円増加したことによるものであります。

固定負債は46,026百万円となり、前連結会計年度末と比較して9,817百万円の増加となりました。

これは主に長期借入金が10,167百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は120,746百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,189百万円の増加となり、自己資本比率は36.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2025年11月12日）公表いたしました「2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,430	27,095
受取手形及び売掛金	123,945	130,208
商品	46,604	47,140
未収入金	34,449	36,787
その他	5,280	5,439
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	233,705	246,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,181	19,681
土地	21,873	21,578
その他（純額）	10,884	13,602
有形固定資産合計	52,939	54,862
無形固定資産	5,684	5,904
投資その他の資産		
投資有価証券	12,659	14,134
繰延税金資産	482	360
退職給付に係る資産	3,228	3,397
その他	3,115	2,945
貸倒引当金	△87	△105
投資その他の資産合計	19,399	20,731
固定資産合計	78,022	81,499
資産合計	311,728	328,165

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,949	112,832
短期借入金	12,019	10,782
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	2,964	2,898
賞与引当金	1,742	2,041
その他	31,086	32,637
流動負債合計	158,961	161,392
固定負債		
社債	5,700	5,600
長期借入金	12,629	22,796
繰延税金負債	809	1,009
退職給付に係る負債	7,365	7,412
その他	9,705	9,208
固定負債合計	36,209	46,026
負債合計	195,171	207,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,572	8,572
資本剰余金	28,413	28,413
利益剰余金	80,373	83,658
自己株式	△6,723	△6,645
株主資本合計	110,634	113,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,562	5,575
為替換算調整勘定	4	△70
退職給付に係る調整累計額	1,323	1,215
その他の包括利益累計額合計	5,889	6,720
非支配株主持分	32	27
純資産合計	116,557	120,746
負債純資産合計	311,728	328,165

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	491,522	503,299
売上原価	442,881	453,886
売上総利益	48,641	49,412
販売費及び一般管理費	40,467	42,029
営業利益	8,174	7,383
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	130	146
持分法による投資利益	—	3
業務受託手数料	87	71
その他	513	447
営業外収益合計	734	674
営業外費用		
支払利息	190	296
持分法による投資損失	5	—
売上債権売却損	104	153
その他	37	58
営業外費用合計	338	508
経常利益	8,569	7,549
特別利益		
固定資産売却益	28	31
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	28	31
特別損失		
固定資産売却損	1	85
固定資産除却損	3	1
投資有価証券評価損	—	29
特別損失合計	5	116
税金等調整前中間純利益	8,593	7,463
法人税、住民税及び事業税	2,786	2,513
法人税等調整額	△13	△95
法人税等合計	2,773	2,418
中間純利益	5,819	5,045
非支配株主に帰属する中間純利益	11	2
親会社株主に帰属する中間純利益	5,808	5,043

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	5,819	5,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102	1,013
為替換算調整勘定	56	△77
退職給付に係る調整額	55	△107
その他の包括利益合計	9	827
中間包括利益	5,829	5,873
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,818	5,874
非支配株主に係る中間包括利益	11	△0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,593	7,463
減価償却費	2,341	2,402
株式報酬費用	39	58
賞与引当金の増減額 (△は減少)	164	298
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	30	△42
受取利息及び受取配当金	△132	△151
支払利息	190	296
為替差損益 (△は益)	4	△67
持分法による投資損益 (△は益)	5	△3
固定資産売却損益 (△は益)	△26	54
固定資産除却損	3	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	29
売上債権の増減額 (△は増加)	9,066	△6,279
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,414	△545
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,630	2,240
その他の資産の増減額 (△は増加)	△3,378	△4,674
その他の負債の増減額 (△は減少)	△302	1,128
その他	△635	1,702
小計	△80	3,930
利息及び配当金の受取額	132	153
利息の支払額	△191	△265
法人税等の支払額	△2,636	△2,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,775	1,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△404	△382
定期預金の払戻による収入	372	364
有形固定資産の取得による支出	△1,030	△3,533
有形固定資産の除却による支出	△10	—
有形固定資産の売却による収入	9	256
無形固定資産の取得による支出	△721	△1,062
投資有価証券の取得による支出	△70	△76
投資有価証券の売却による収入	1	40
貸付けによる支出	△8	△20
貸付金の回収による収入	16	9
その他	51	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,793	△4,233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,032	△30
長期借入れによる収入	1,480	14,620
長期借入金の返済による支出	△3,231	△5,689
社債の発行による収入	982	—
社債の償還による支出	—	△100
自己株式の取得による支出	△1,391	—
配当金の支払額	△1,753	△1,758
リース債務の返済による支出	△470	△475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△353	6,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,898	3,647
現金及び現金同等物の期首残高	27,016	22,497
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,117	26,144

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、日用品・化粧品等の卸売業を主たる事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。